

ICT経営パートナーズ協会の紹介

2012年5月7日

ICT経営パートナーズ協会

<http://www.ictm-p.jp/>

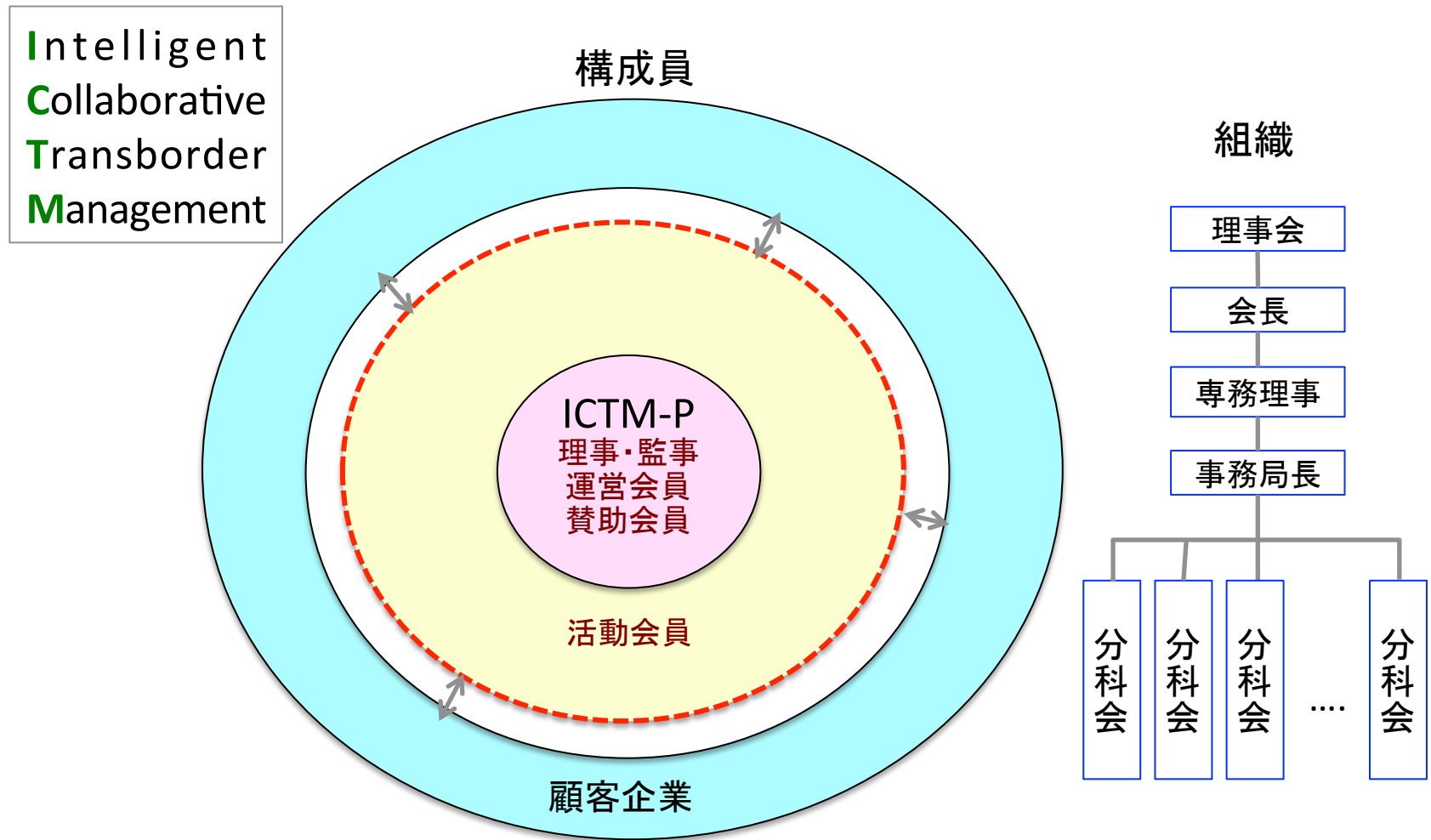
1. ICT経営パートナーズ協会設立

- 任意団体：ICT経営パートナーズ協会
 - 英文名：ICT Management Partners Association
 - 略 称：“ICTM-P”
Intelligent, Collaborative, Transborder, Managementの意義があり、幅広く必要な専門家を結集して、中堅・中小企業のICT経営実践の支援を行う協会
- 設立： 2011年11月17日
- 代表者：
 - 会 長： 関 隆明 (前ITコーディネータ協会会長、元情報サービス産業協会副会長、元NECソフト社長・会長)
 - 専務理事：石田知義 (株式会社アクロネット会長CEO)
- 所在地：東京都中央区日本橋本町4-15-1タカコービル6F
- URL： <http://www.ictm-p.jp>

2. ICT経営パートナーズ協会設立の狙い

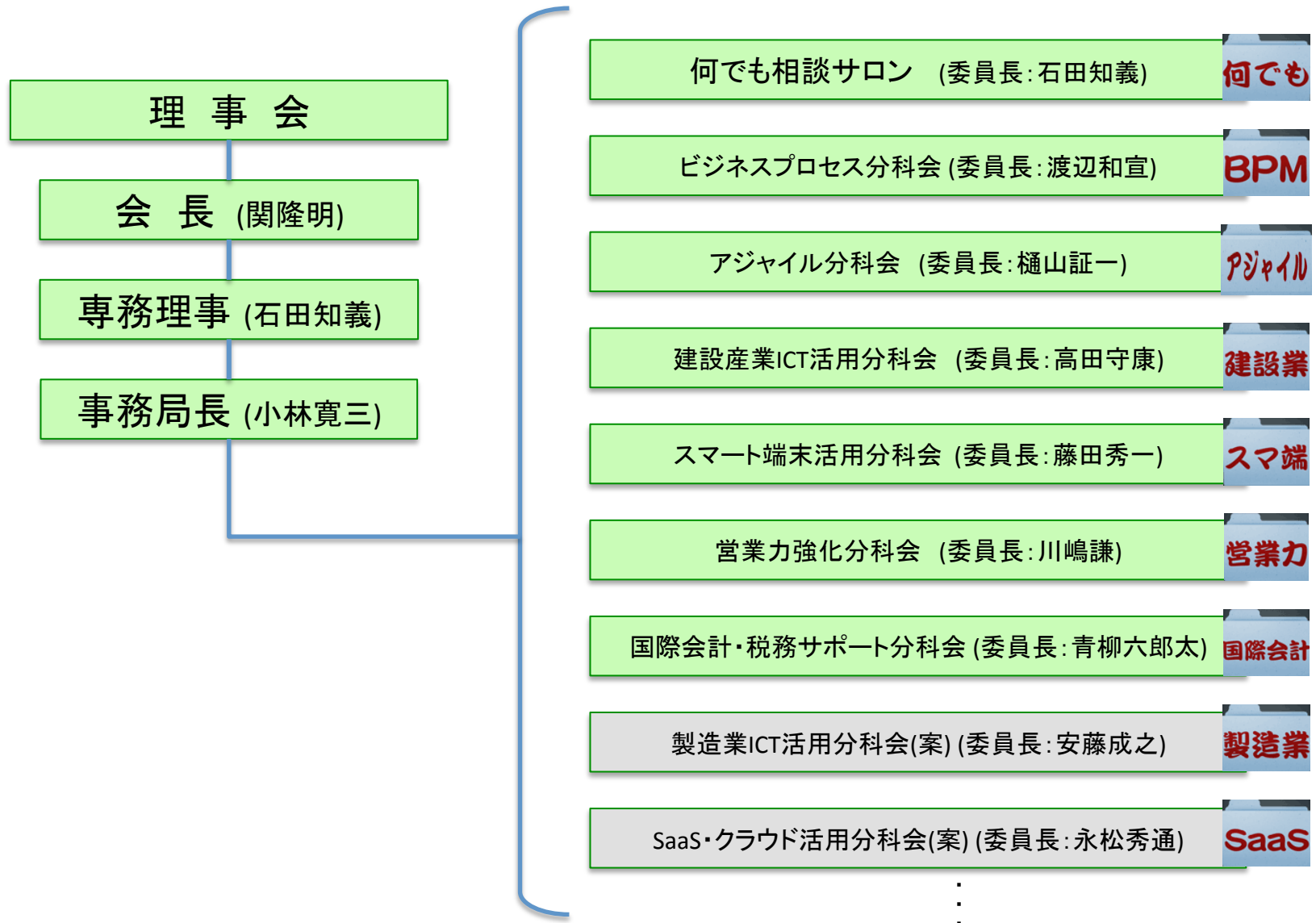
- 各種専門家の連携によるダイナミックな総合支援の実現
 - 従来IT機器・ソフトウェア始め、支援サービスを含め提供側に立つ機関・団体は数多く存在する。
しかし、各機関・団体は、そこに属する人達や企業の価値向上に主眼を置いており、必ずしも他の機関・団体との連携が進んでいるとは言えない。
 - 各機関・団体に属する専門家は、自らの専門知識やノウハウでできる範囲内での支援に止まり、他の専門家との連携が必ずしも取れていない。
 - 一方、顧客企業は、自らの経営課題を広く捉えており、その解決の為に、多種の専門家の支援を必要としている。
 - そこで、多種の専門家がそれぞれの枠にとらわれず、持てる能力を発揮し、顧客から必要とされる機能集団をダイナミックに編成し、総合力を発揮できる仕組み作りの役割を果たすため当協会を設立した。

3. ICT経営パートナーズ協会組織構成



ICT経営パートナーズ協会：ICT Management Partners Association (“ICTM-P”)

4. ICT経営パートナーズ協会の組織



5. ICT経営パートナーズ協会幹部メンバーリスト

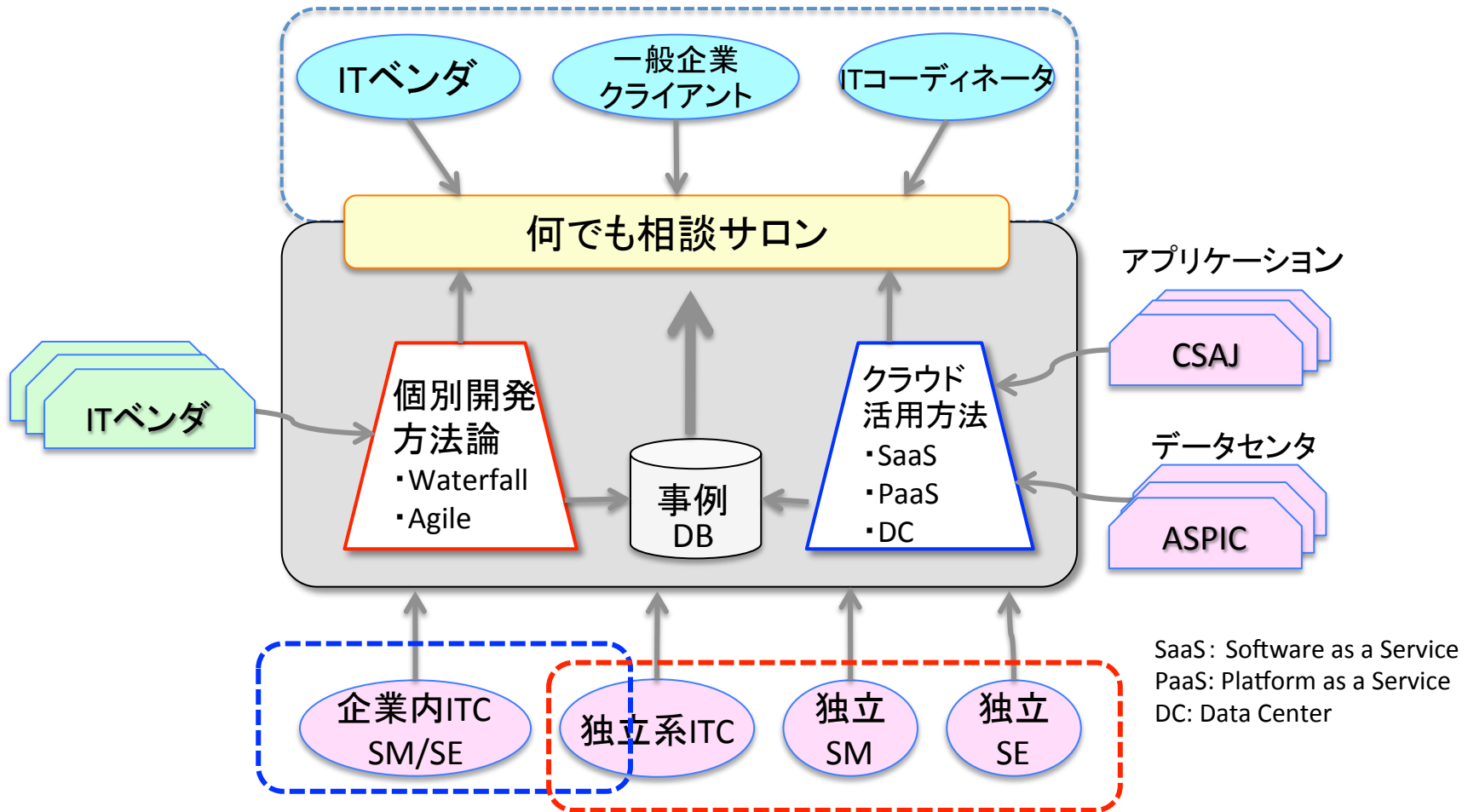
#	氏名	役 割	運営 会員	所属・役職	専門分野
1	関 隆明	会長	○	前ITコーディネータ協会会長、元情報サービス産業協会副会長、 元NECソフト(株)社長、会長	経営
2	石田知義	専務理事	○	(株)アクロネット会長CEO	経営、ビジネスマッチング
3	川嶋 謙	理事		アクスラボ(株)社長	経営、営業強化
4	栗原元教	理事	○	協和会計情報開発(株)社長、中小企業診断士	中小企業IT経営, ITC
5	清水慶三郎	理事	○	元東芝ソシオシステムサポート(株)社長	運用管理(ITIL)
6	新谷 哲	理事	○	WizBiz(株)社長	ネット・ビジネスマッチング
7	高田守康	理事	○	日本マルチメディアエクイップメント(株)社長	建設業DB
8	富田 直人	理事	○	(株)イノベーション社長	マーケティング
9	樋山証一	理事	○	(株)ウイング社長	Agile開発
10	藤田秀一	理事	○	(有)イーグルアイ社長	Web技術、ITC
11	牧 壮	理事	○	牧IT研究所代表、カルフォルニア州立工科大学ポモナ在日代表	海外、ネット活用
12	松田利夫	理事		(株)みんなのクラウド社長、(株)きっとエイエスピー社長	SaaS/Cloud
13	向 浩一	理事		コムチュア(株)会長CEO、ITコーディネータ協会理事	経営、ソフトウェア開発
14	森戸裕一	理事		日本中小企業情報化支援協議会代表理事、ナレッジネットワーク(株)社長	中小企業IT化
15	和田正則	理事	○	(株)ワディット ITコンサルタント、日本BPM協会運営幹事	BPMプロセス／アプリ開発
16	渡辺和宣	理事	○	バリューチェーンプロセス協議会理事長、(株)マネジメント&ERPインテグ レーション社長、中小企業診断士、公認システム監査人、PMP	BPM、ITC
17	青柳六郎太	監事	○	公認内部監査人、税理士、中小企業診断士、システム監査技術者、専修大 学大学院講師、日本事務器(株)顧問コンサルタント	経理財務、原価計算
1	小林寛三	事務局長	○	国際大学グローバルコミュニケーションセンター主幹研究員	海外、ITC
2	蓮沼 弘	事務局	○	(株)アクロネット部長	ビジネスマッチング

6. ICT経営パートナーズ協会の役割

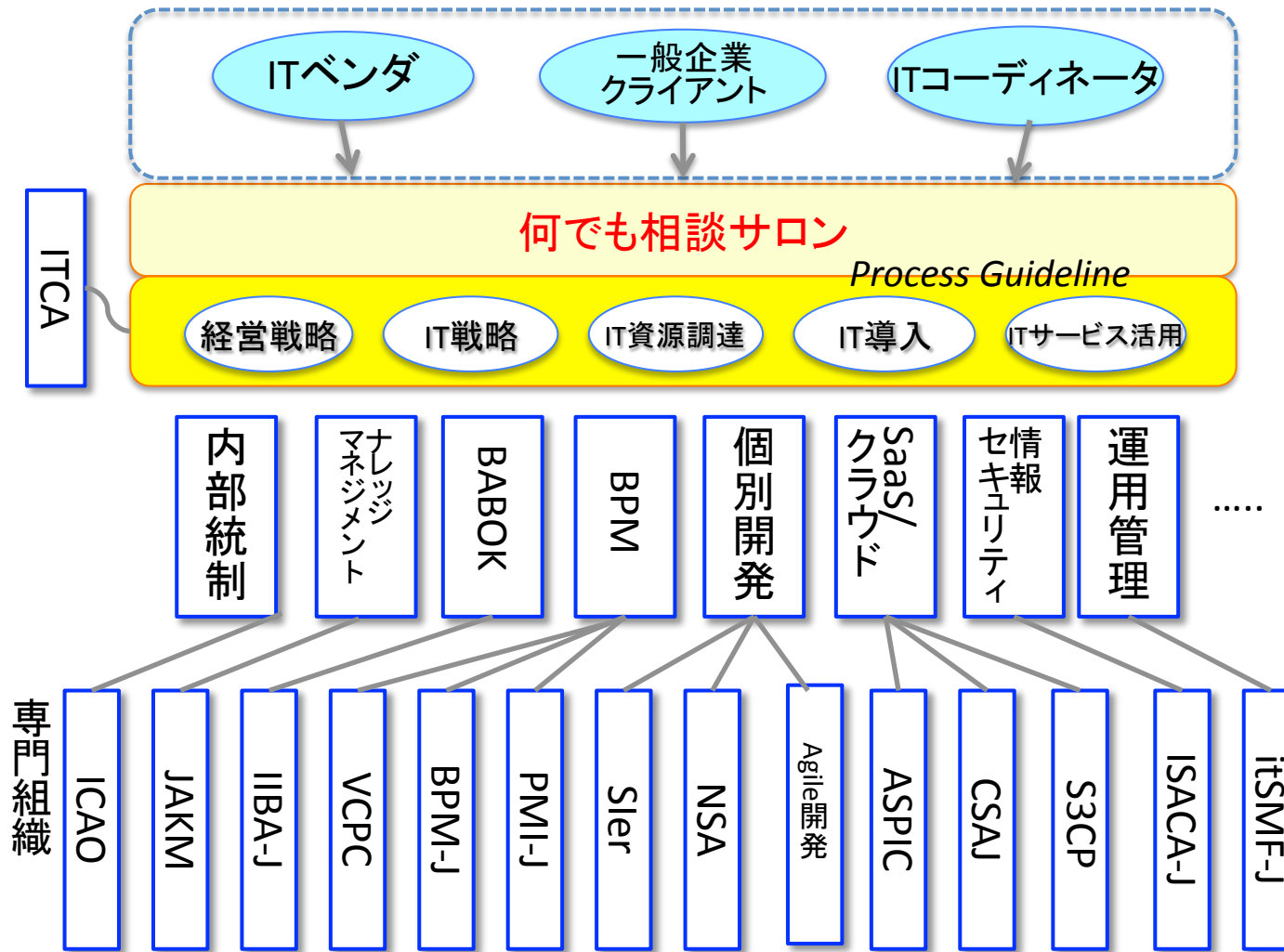
1. 従来のIT化の問題点を改め、常に**顧客視点**に立ち、真に顧客の企業力強化に直結する**ICT経営を実現**する。
2. ICT経営実現に役立つあらゆる種類の人材を集め、多様化するICT利活用への対応力を備えた**集団を形成**し、互いに連携して**効率的支援**を実施し、自らのビジネス・チャンスも拡大する。
3. 支援を受ける側と提供する側との**マッチング**をより広く、**的確**に行える仕組みを作る。
4. ICT経営化のプロセス及び各プロセスに適用すべき方法や技術の充実を図り、**効果的なICT経営化**を推進する。
5. 実践活動の中に、学生や若い技術者の参加機会を設け、**次代を担う人材の育成**に努める。
6. 実現した顧客のICT化レベル及び支援した人材の**貢献度を客観的に評価**し、表彰やマッチングなどに活用するのは勿論、対顧客に対して、**PDCAサイクル支援**を実行する。

以上の活動を通し、企業の経営力強化に貢献し、**我が国の経済発展に寄与**する。

7. クライアント／ITベンダ等からの『何でも相談サロン』



8. 各方法・手法別専門組織との連携



ITCA:
IT Coordinators Association

ICAO:
Internal Control Assessment Organization

JAKM:
Japan Association for Knowledge Management

IIBA:
International Institute of Business Analysis

VCPC:
Value-Chain Process Council

BPM:
Business Process Management

PMI:
Project Management Institute

NSA:
Nippon Software Industry Association

ASPIC:
ASP-SaaS-Cloud Consortium

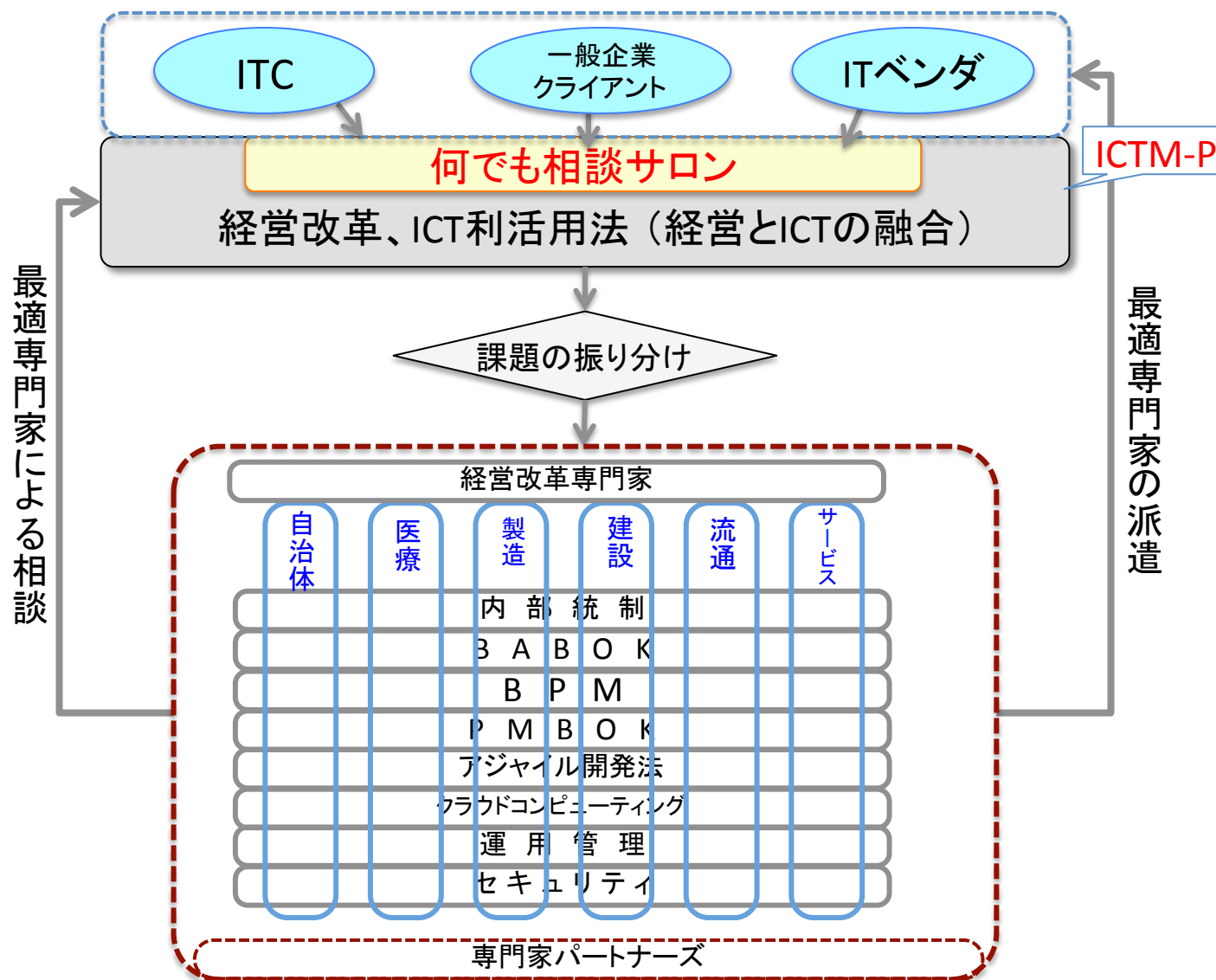
CSAJ:
Computer Software Association of Japan

S3CP:
Society for SaaS and Cloud Partners

ISACA:
Information Systems Audit and Control Association

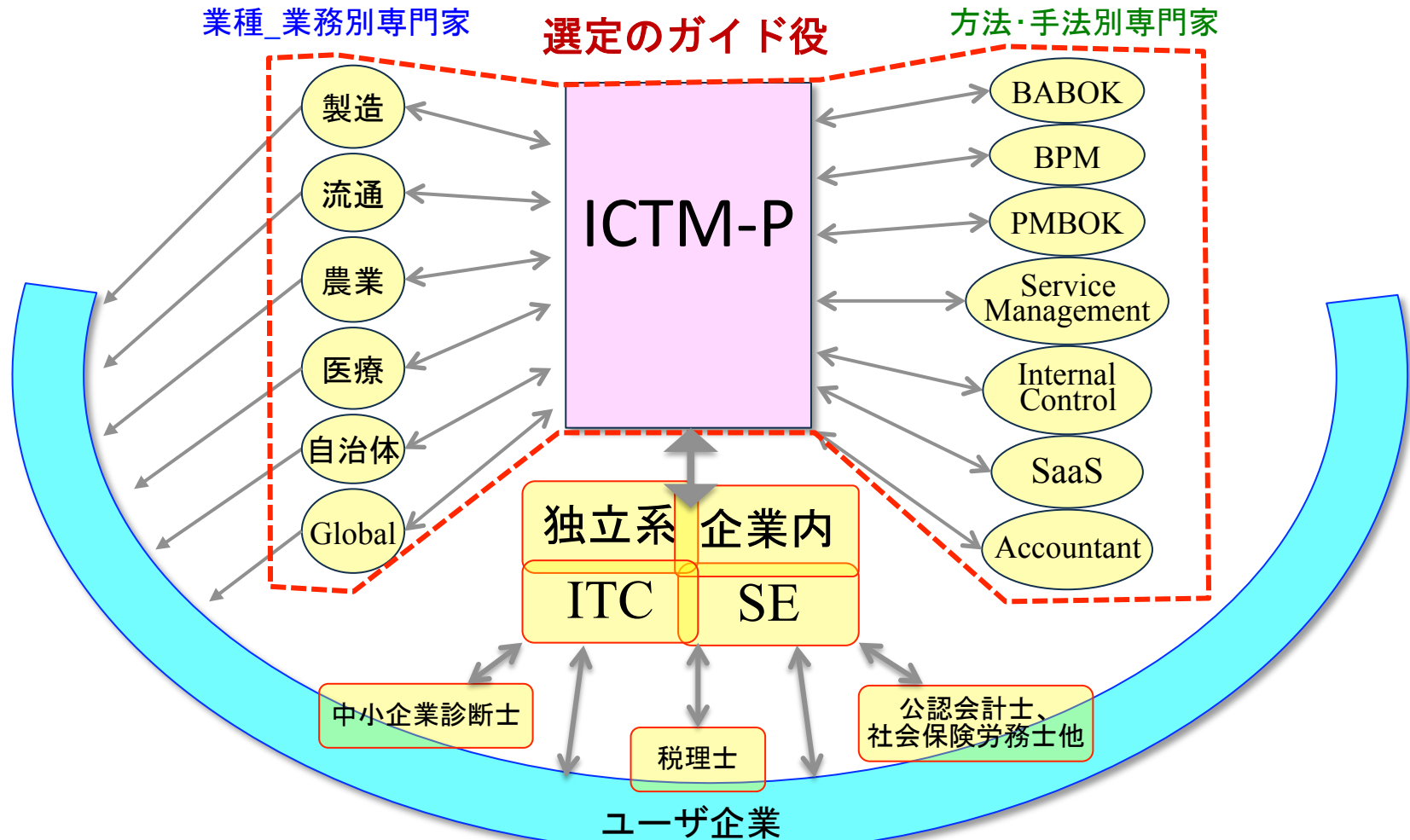
itSMF:
The IT Service Management Forum

9. お客様支援体制

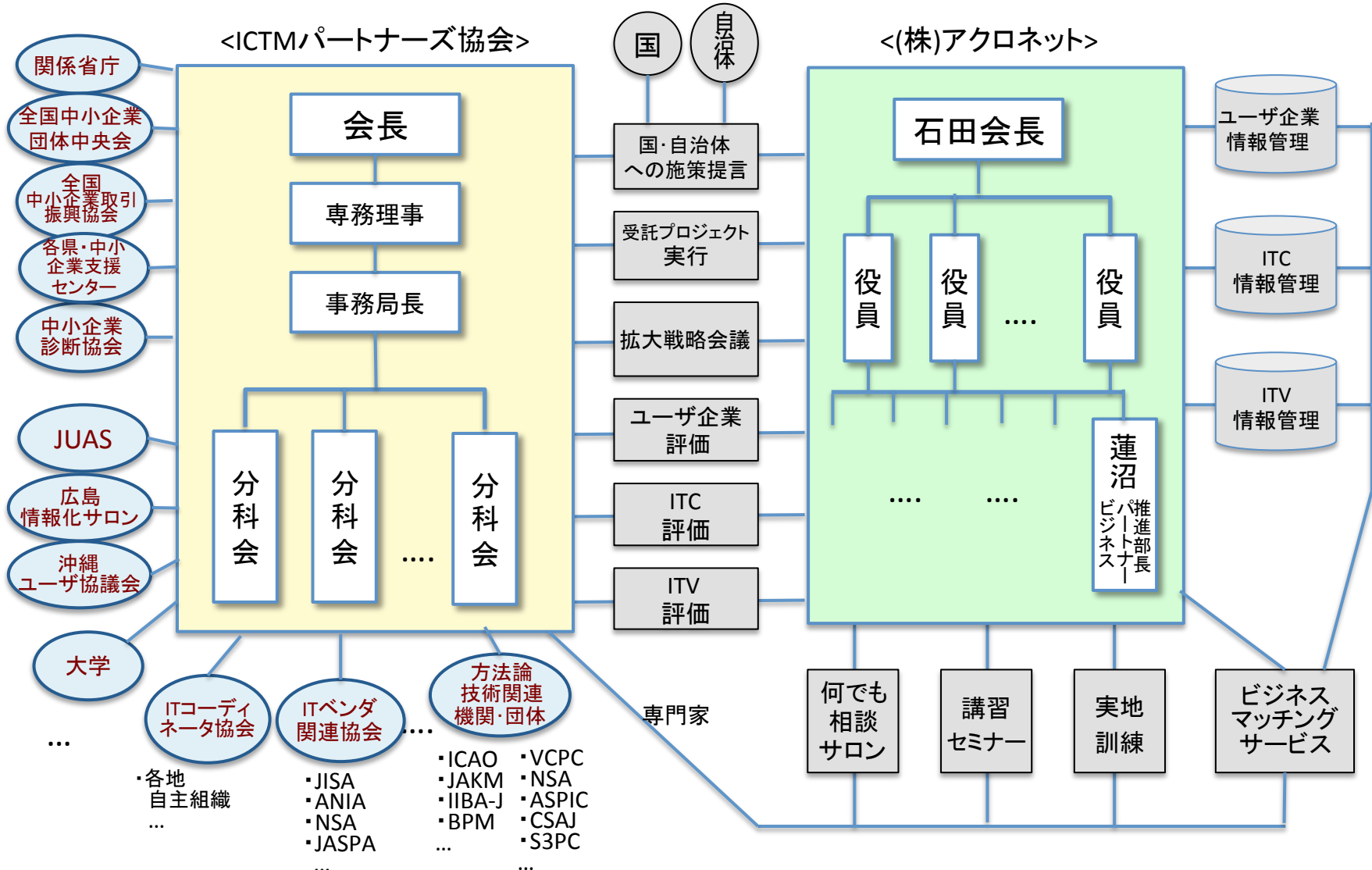


10. ICT経営パートナーズ協会の役割

実践的・理論的・創発的ICTMパートナーズ



11. ICT経営パートナーズ協会と(株)アクロネット社との連携



12. ICT経営パートナーズ協会と(株)アクロネットとの連携

1. 協会の組織は、任意団体としてスタートし、図に示す如く、**努めて簡単**な組織とし、予想されるテーマに対する 対応力強化の為に、**分科会**を臨機応変に設置し、課題解決に当たる。
2. この分科会には、ITコーディネータ、ITベンダ、各種方法論・技術関連機関・団体から会員を 募り、極力当協会の**活動会員**に勧誘する。
3. 顧客企業との接触を拡大深化する為に、全国中小企業団体中央会始め、中小企業診断協会、全国中小企業取引振興協会など**関係団体との関係強化**を図る。
4. アクロネット社は、協会からみると**BPO先**に当たる。協会ともども企画する「何でも相談」、「講演セミナー」、「実地訓練」等の運営管理を担当する。協会はそれら活動に適した人材を供給する。
5. アクロネット社本来の仕事としてユーザ企業情報、ITベンダ情報、ITコーディネータ情報の収集、蓄積に務め、**ビジネスマッチング対象**の一段の拡大を図る。(中小規模→中堅以上へ)
6. ビジネスマッチングは、当連携の正否を左右する重要な機能として、アクロネット社の仕組みを大いに活かす。協会はヒッティング率向上の為、会員自らマッチング対象となる**優れた人材や会社の登録**を促進する。
7. 協会およびアクロネット社は協力して、日常活動の結果をしっかりと踏まえたユーザ企業、ITベンダおよびITコーディネータの評価を継続的に行い、マッチングに用いる**データベースの充実**を図る。
8. 協会とアクロネット社は定期的に「**拡大戦略会議**」を開き、成果拡大の為の戦略を練り、両者の果たすべき役割を明確にし、実践に移す。
9. できれば国・自治体への**施策提言**を行い、プロジェクトの提案・実行を行う。